

原っ子だより

学校通信 第8号

令和5年9月29日

文責 校長 徳本ひとみ



2学期～充実した秋にしましょう～

2学期が始まり早いもので1ヶ月たちました。中学生や地域との交流、スポーツ、地域を知る・防災について考える、社会見学、野外活動、修学旅行、学習発表会等々、2学期は様々な活動や行事が目白押しです。

1学期に様々なことに一生懸命取り組んで味わった達成感を、2学期もさらに高めていきましょう。

大切にしたい我が地域! 教職員も校区の地域をもっともっと知ろう!

今年度2学期は、地域を学んだり地域の方々と交流させていただいたりする機会がますます増えます。しかし、この数年間人事異動やコロナ禍により、この地域を知らない教職員も増えてきました。そこで、今年度は8月末に教職員も地域のフィールドワークを行い、原小学校の校区を歩いて学びました。講師として、阿賀地区運動推進協議会会長の梶島宏身様を招聘し、地域を案内していただき多くのことを教えていただきました。この教職員の経験も2学期の児童の活動や授業に大いに生かされると思います。



取り入れたい防災の意識 ①ふだんのクリーン活動にも!

ほぼ毎月、学校通信でお伝えしているように、今年度は、「実践につながる防災教育を」という方針のもと、様々な取組により全校児童に防災の意識を浸透させたいと考えています。秋は台風のシーズン、いつも行っている校内クリーン活動のねらいにも、次のように「防災への意識を高める」事を加えました。

ねらい

・台風の季節を前に、運動場の草や石を取り除くことで不測の事態に備えることの大切さを知り、防災への意識を高める。

・「学ぶ場所」にふさわしい環境づくりを心がけ、働く喜びを味わう。

・自分たちの学校を清潔に保とうとする心を持つ。



9月に2回のクリーン活動の時間を設け、始業前に全校児童で石ころや草を集めました。特に排水溝の周りに注意しました。

取り入れたい防災の意識 ②野呂山野外活動でも!

9月21日～9月22日
5年生：野呂山での野外活動



電気やガス、ライフラインが途切れても、いざとなったら火起こしができるぞ!!
薪を燃やした火の中に、ホットドッグを入れます!災害時のことも思い浮かべました。



野呂山の方からも、平成30年の西日本豪雨災害の被害についてお話を聞きました。その後防災クイズにも取り組みました。

オリエンテーリングでは協力して目的地まで山道を歩きました。

今年度は 当たり前の日々の活動こそを 大切にしたい!
小さな目標設定→挑戦→達成→評価→自信→新たな挑戦へと続きます!



呉チャレンジマッチスタジアムで、目指せ上位入賞!



3年生の体育の時間：一人一人が目標を決めて練習に練習を重ねています。



百人一首や詩の暗誦～全校児童が校長室に来ます。



評価：原っ子賞授与式

ごんぎつねの勉強で兵十とごんの気持ち分かりました。国語がこんなに楽しいと思っただのは初めてです。最後の場面が一番感動しました。またもう一回最初から勉強したいと思いました。

4年生女子の授業後の振り返りです。授業を一生懸命頑張った達成感が表れています

9月の始め、心のアンケートを実施し、児童の心のケアに努めているところです。ご家庭でもお子様の心や身体のことなどで気にかかることがあれば、遠慮なく学校にご相談ください。
「ふれあい相談窓口」(毎月第3火曜日)を設けております。
電話番号 0823-71-7756 相談窓口 下河原教頭 胡生徒指導主事 長濱養護教諭